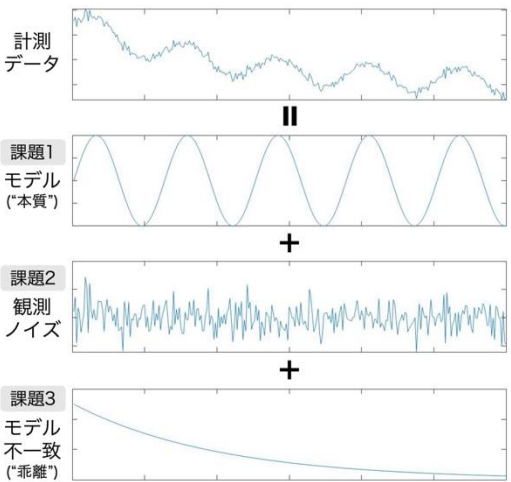


背景と動機

- 計測により、現象はデータとして捉えられる
- 数理モデリングはデータを数式で表し、現象の理解を支える

現状

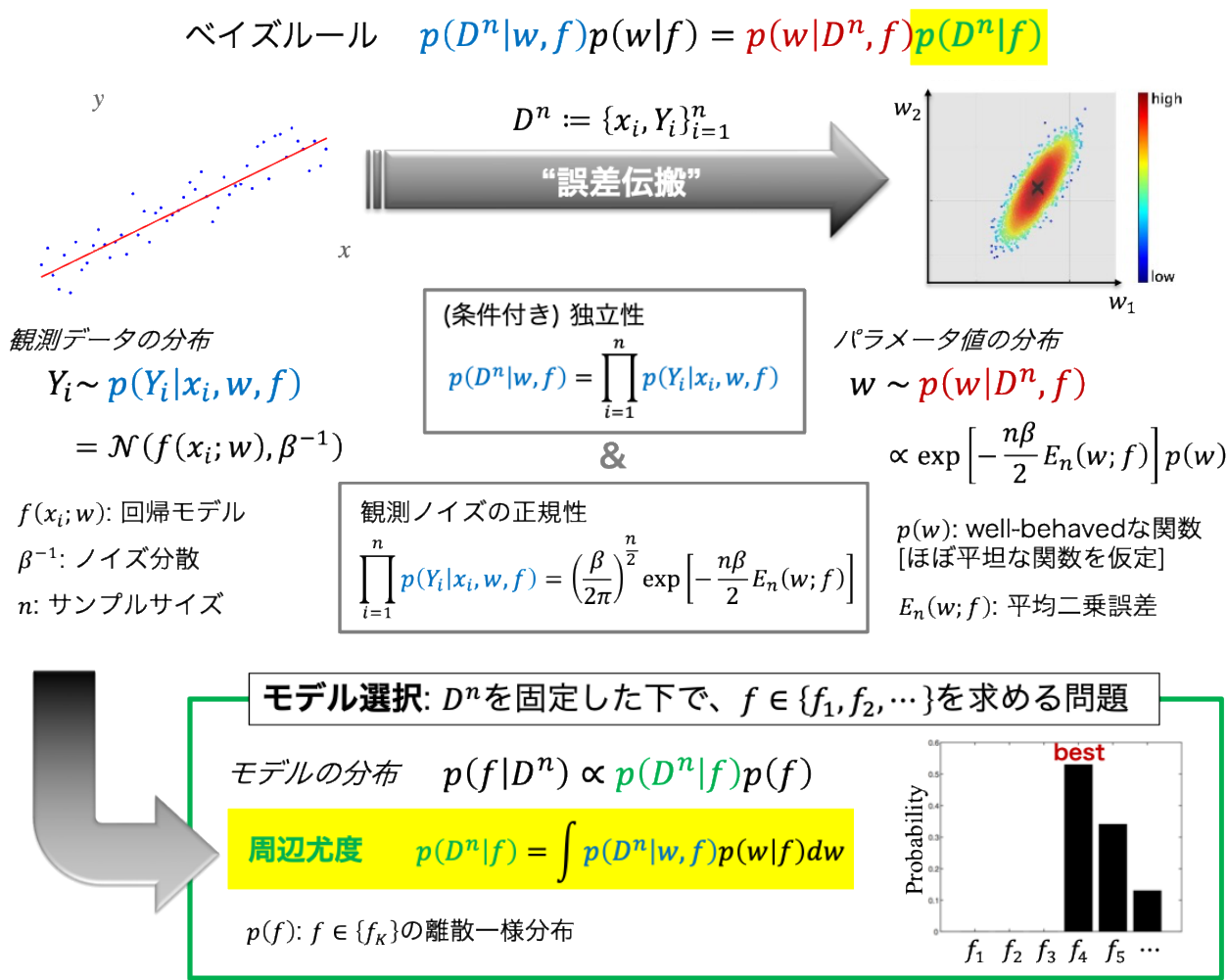
- 高度な計測により、複雑なデータが得られている
 - その結果、現象の理解が困難な状況が顕在化している
 - 問題の本質は次の3点にある
- ① モデルの不定性：どのモデルが妥当かは自明でない
 - ② 観測ノイズの影響：データには本質的なばらつきが含まれる
 - ③ モデル不一致の影響：モデルは現実の近似にとどまる



計測データを構成する要素
(モデル・ノイズ・不一致)

研究紹介

ベイズ推定による不確実性定量化とモデル選択



展開

- 複雑現象を曖昧さなく定量的に理解できる
- データの解釈における不確実性を評価できる
- 科学的知見と計測データの双方に基づいて合理的に判断できる

産学連携の協業モデル

